

コース名	<b>はじめて学ぶ!生産現場の問題解決講座</b> 現場改善の第一歩！問題を捉え、改善に導く手法を学ぶ				
研修のねらい	ものづくり企業が人手不足の問題や競合先との厳しい競争に柔軟に対応し、生産現場の生産性を高める取り組みは企業の競争力確保のための重要なテーマです。また、少数精鋭の生産現場では発生するムダの正確な把握、的確な分析、改善策の立案とその取り組みを推進するリーダーの存在が求められています。 本研修では、生産現場のリーダーが理解しておきたい改善手法の実際の活用法を学び、生産現場の問題を的確に捉えて、効果的な改善策を立案し、改善に向けてチームを導く術を身につけます。また、研修のまとめとして自社の生産現場の問題の着眼に取り組み、習得した改善手法をどのように活用していくかを考えます。				
研修の特長	・現場改善の責任者・リーダーが身につけておきたい手法を幅広く学びます。 ・現場改善の基本について、意義や目的について体系的に解説します。 ・現場改善の具体的な実践ポイントについて学びます。 ・自社の現状と課題を整理し、改善プランを立案します。 (本研修ではGoogleアカウントを使用します)  ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.46 体験で学ぶ！はじめての品質管理」 2026年10月5日(月曜)～2026年10月7日(水曜)〈3日間〉 ・「No.47 利益に直結！原価管理とコストダウン」 2026年11月16日(月曜)～2026年11月18日(水曜)〈3日間〉 ・「No.48 ヒューマンエラー・ポカミス対策講座」 2027年1月26日(火曜)～2027年1月28日(木曜)〈3日間〉				
研修期間	2026年7月27日（月曜）～ 7月29日（水曜） 〈3日間〉				
対象者	管理者・新任管理者等 ・生産現場改善に初めて取り組む方 ・現場改善の基本を体系的に学びたい方 ・生産現場の問題把握に悩んでいる方	定員	25 名	受講料	32,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
7/27 (月)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時40分～15時40分 (昼休 12時20分 ～13時20分)	生産現場改善の基本	生産現場における改善活動の意義を理解した上で現場改善に必要な視点や目的等について基本から学びます。  ・現場改善の目的は利益の獲得 ・QCDの重要性 ・現場改善と生産性向上のかかわり ・現場リーダーに求められる役割とスキル ・生産性向上のコツ ・AI活用のコツ	古澤 智 合同会社FRSコンサルティング 代表社員
	15時40分～17時40分	成果を高める改善手法とその実践法	現場改善活動の具体的な手法とその実践ポイントについて、活用事例や演習を交えて学びます。  ・現場改善の着眼点 ・目で見える管理の有効性 ・3ム（ムリ・ムラ・ムダ）の発見・改善 ・デジタル活用の促進 ・5S定着のステップ ・I E 技法、V E の活用法 ・Q C Dの視点から見る改善活動事例 ・改善と管理（標準化） ・最新の技術動向と活用の仕方	
7/28 (火)	9時20分～17時20分 (昼休 12時20分 ～13時20分)			
7/29 (水)	9時20分～11時20分	業務効率化のための生成AI活用	現場改善に有用な生成AIについて、どのように活用できるかをPCを使用した演習で学びます。  ・生成AIの基本と使用時の留意事項 ・生成AIを活かした現場改善の実例 ・生成AIによる実演演習	
	11時20分～17時20分 (昼休 12時20分 ～13時20分)	自社の改善活動プランの検討 (演習)	これまでに学んだ内容を振り返りながら、自社生産現場の効率化・生産性向上に向けた改善活動プランの立案に取り組み、研修の成果として持ち帰ります。  ・改善とリードする現場力 ・自社の生産現場の現状と課題の整理 ・改善活動計画作成のポイント ・自社の改善活動計画作成	
	17時20分～17時30分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

※研修初日終了後から交流会を開催する予定です

講師氏名	略歴
古澤 智 (ふるさわ さとし) 合同会社FRSコンサルティング 代表社員	大学卒業後、総合電機メーカーで製品設計に従事。その後、中小企業支援センターにて様々な中小企業の支援に従事したのちコンサルタントとして独立。技術経営、現場改善を得意とし、企業に寄り添う伴走型支援を重視する。